

# アフリカとアジアの 新しいパートナーシップ

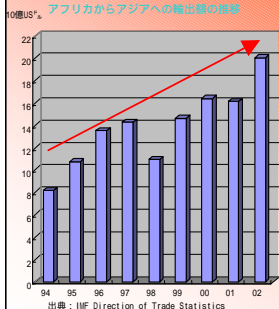


～貿易・投資促進のためのTICADイニシアティブ～



## アフリカとアジアの貿易・投資の現状は？

アフリカからアジアへの輸出の推移



アフリカ・アジア間の貿易・投資は着実に拡大しています。

例えば、アフリカからアジアへの輸出額は約10年前と比べ、2倍以上に拡大しています。

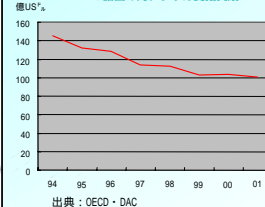


「モザール・アルミ精錬工場（モザンビーク）」  
アフリカにおける投資の代表的成功事例。日本からも商社や、国際協力銀行（JBIC）、日本貿易保険（NEXI）等が参加・協力しています。

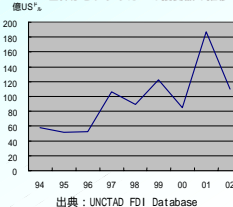
## 貿易・投資の促進はなぜ必要なのでしょうか？

アフリカには、政府開発援助（ODA）の額を大幅に上回る民間資金が、貿易や投資の形で流入しています。  
対アフリカODAの大幅な拡大が困難な状況の中、アフリカがミレニアム開発目標（MDGs）を含む様々な開発目標を達成するためには、ODAと連携し、貿易・投資の一層の促進を通じた民間セクターの開発を行い、「自立的かつ持続可能な成長」を実現することが重要です。

D A C 諸国の対アフリカ支援実績



世界からアフリカへの投資額の推移



## T I C A D アジア・アフリカ貿易投資会議

貿易・投資の促進 / ビジネスチャンスの拡大

貿易・投資の促進 / ビジネスチャンスの拡大

開催日：2004年11月1日・2日  
開催地：東京  
主催：T I C A D 共催者（日本政府、GCA、国連、UNDP、世銀）  
参加者：アフリカ諸国、アジア諸国、国際機関、アフリカ地域機関、アジア・アフリカ各国の民間関係者

また、在京アフリカ外交団、国際機関、アフリカ関係団体等と連携し、物産展示、投資セミナー等のサイドイベントを実施します。



「織物工房（ボツワナ・オーディー村）」  
村の住民による共同出資で運営されており、日本の青年海外協力隊員も地場産業育成のための支援を行っています。



「第3回アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム（セネガル）」  
アフリカ・アジア両地域より多くの企業が参加し、59件・約3,600万ドルの取引が合意に至りました。

## 「TICADアジア・アフリカ貿易投資会議」の目的は？

T I C A D アジア・アフリカ貿易投資会議は、アフリカの自立的かつ持続可能な成長の実現に向けて、近年成長が著しいアジア・アフリカ間の貿易投資の現状に着目し、貿易投資の拡大を通じたアフリカ開発の具体的な方法等について議論を行うものです。

具体的には以下の3点を目的に議論を行います

アフリカ・アジア間の貿易・投資の可能性の提示  
民間企業のニーズと、アジアの開発経験に基づき、アフリカの政府機関の役割を特定  
アフリカ・アジア間の貿易投資促進に向けた官民ネットワークの形成

## アフリカ開発会議(TICAD)の概要 (Tokyo International Conference on African Development)

1. 日本政府、GCA、国連、UNDP、世銀の共催で開催するアフリカ開発をテーマとする国際会議です。
2. T I C A D プロセスは、日本の対アフリカ外交の中軸であり、T I C A D では、日本政府の主導によりアフリカ開発に関する包括的な議論が行われ、国際社会の世論形成に大きな役割を果たしています。
3. 1990年代はじめ、冷戦の終結に伴う援助疲れにより、国際社会のアフリカへの関心が低下し、アフリカは世界から取り残されようとしていました。そのような中、日本は1993年に第1回アフリカ開発会議（T I C A D）を開催し、国際社会の目を再びアフリカへ向けるきっかけを作り、1998年にはT I C A D、さらに、T I C A D 10周年となる2003年にはT I C A D を開催しました。

## 貿易・投資促進のための日本のこれまでの取り組みは？

1. T I C A D プロセスにおける取組み  
「アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム」  
アフリカ・アジア地域間のビジネス形成のため、両地域の民間企業同士の商談の場を提供しています。  
第1回（1999年10月）：マレーシア  
第2回（2001年7月）：南アフリカ  
第3回（2004年4月）：セネガル  
「アジア・アフリカ官民合同フォーラム」（2004年5月：マレーシア）  
アフリカ・アジア双方の政府関係者及びビジネス関係者が出席し、アフリカ開発のための民間セクターの重要性並びに政府の役について幅広い議論が行われました。
2. 貿易・投資促進のためのインフラ整備、人材育成等に対する支援を実施しています。
3. 2003年4月より、後開発途上国（LDC）からの輸入総額の約9.3%を無税・無枠化しています。
4. その他にも、投資ミッションの派遣、両地域の商工会議所間のネットワークの形成を試みるなど、様々な取り組みを実施しています。



# TICADプロセスの歩み



## 1993年 第1回アフリカ開発会議 (TICAD)

アフリカ開発に関する「東京宣言」を採択

### 貿易投資関連

\* 民間セクターの活動を通じた経済開発の重要性を確認

## 1998年 第2回アフリカ開発会議 (TICAD)

包括的な行動目標である「東京行動計画」を採択

基本原則 アフリカ諸国の自主性（オーナーシップ）  
開発パートナーとのパートナーシップ  
優先分野 社会開発（教育、保健・医療、女性の参画等）  
経済開発（農業、工業、民間セクター支援等）  
開発の基盤（「良い統治」と「紛争予防と紛争後の開発」）

### 貿易投資関連

\* 貧困削減のための経済成長の重要性を確認。セクターごとの行動計画を策定（民間セクター開発、工業開発、農業開発）。

### フォローアップ

- 1998年 8月 アジア・アフリカ投資・技術移転センター（ヒッパロス・センター）開設
- 1999年 10月 第1回アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム（AABF）（マレーシア）
- 2001年 7月 第2回アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム（AABF）（南アフリカ）

## 2003年 第3回アフリカ開発会議 (TICAD)

TICADプロセスの将来の方向性を提示する「TICAD10周年宣言」を採択  
アフリカ開発問題の優先事項をまとめた「TICAD 議長サマリー」を発売  
NEPAD支援のための国際社会の支援の結集とパートナーシップの拡大を図った「平和の定着」、「人間中心の開発」、「経済成長を通じた貧困削減」というアフリカ開発の3本柱を提示  
アフリカにおける「人間の安全保障」と「南南協力」の重要性を確認

### 貿易投資関連

- \* 「経済成長を通じた貧困削減」の重要性を強調。  
（インフラ、農業、民間セクター開発の分科会を実施）
- \* 「アジア・アフリカ貿易投資会議」の開催を発表。

### フォローアップ

- 2004年 4月 第3回アフリカ・アジア・ビジネス・フォーラム（AABF）（セネガル）
- 2004年 5月 アジア・アフリカ官民合同フォーラム（マレーシア）
- 2004年 11月 TICADアジア・アフリカ貿易投資会議（東京）



アジア・アフリカ官民合同フォーラム



TICAD